

CD-1000

NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

取扱説明書・保証書

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



YAMAHA

ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、ヤマハコンパクトディスクプレーヤーCD-1000をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。CD-1000の優れた性能を充分に発揮させると共に、長年支障なくお使いいただくために、この取扱説明書をご使用前にぜひお読みくださいますようお願いいたします。

目次

特長	1
豊かなオーディオライフのために	2
接続の前に	3
接続のしかた	4
各部の名称とはたらき	5
コンパクトディスクの取り扱い	9
演奏のしかた	11
選曲のしかた	14
曲の頭出し	15
早戻し・早送り	17
インデックスサーチ	18
リピート演奏のしかた	19
プログラム演奏	21
タイマー演奏	24
リモコン演奏	25
故障かなと思ったら	27
参考仕様	28
ヤマハホットラインサービスネットワーク	30

特長

●最新テクノロジーを満載

D/Aコンバーター、高性能デジタルフィルター、5次アクティブアナログフィルター、スプリングサスペンション型3ビーム光ヘッドなど、コンパクトディスクの持つ優れた音質を充分にお楽しみいただけるよう、ヤマハの最新テクノロジーを満載しています。また、高度なデジタル信号処理回路の大半をLSI化しているため少数部品で極めて高い信頼性を確保しています。

●優れた特性

周波数特性2~20,000Hz±0.5dB、ダイナミックレンジ97dB以上、高調波歪率0.002%以下(1kHz)、S/N比102dB以上(EIAJ)という電気特性と、ワウフラッター測定限界以下という機械特性に裏付けられた精緻な音質を実現しました。

●優れた音質

雑音に悩まされることのない透明で繊細な音質により、ミュージシャンの微妙な呼吸までも忠実かつダイナミックに再現します。スタジオや演奏会場の雰囲気、そのままあなたのリスニングルームでお楽しみいただけます。

●操作性の高いスイッチレイアウト

スイッチの大きさとレイアウトは、使用頻度を考慮した親切設計。また、スイッチはマイクロコンピューターを搭載することにより、軽く触れるだけで素早く反応します。

●選曲の操作性向上

10キーを採用しているため、お好みの曲番を10キーでダイレクトに指定でき、選曲の操作性が大幅に向上しました。

●演奏状態を一目で確認

演奏中の曲番、プログラムの曲番、演奏経過時間および残量時間を分秒単位でデジタル表示。プログラム演奏、リピート演奏などもインジケーターによって、一目で確認できます。

●多彩な機能

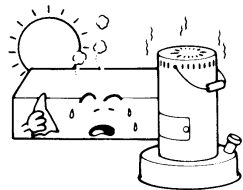
リピート機能(全曲、一曲、プログラム、A-B間)、ランダムプログラム機能、音出しサーチ、インデックスサーチ、スペースインサートなどの機能を備え、コンパクトディスクに収められた情報を最大限に活かした多彩な演奏をお楽しみいただけます。

●リモコンにすべての機能を内蔵

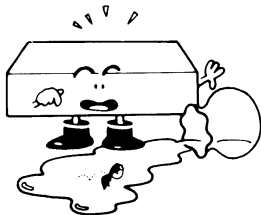
付属のリモコンユニットを使用すると、電源のON/OFF以外は、本体とまったく同じ操作ができます。

豊かなオーディオライフのために

高温をさけて！

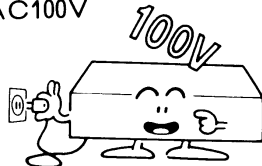


ほこり・水気をさけて！

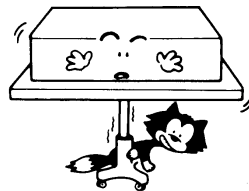


国内のみ使用可

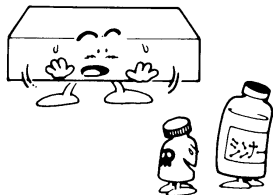
家庭用電源コンセント
AC100V



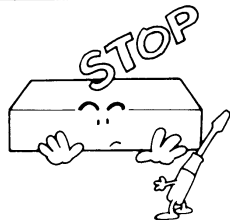
不安定な場所をさけて！



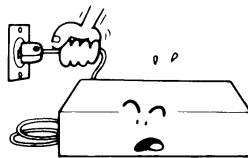
薬物厳禁



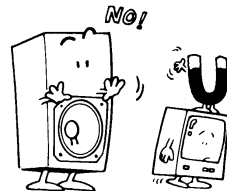
開けないで！



引っぱらないで！



磁気・テレビはさけて！



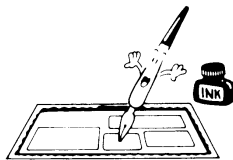
こわれた？



27ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。



取扱説明書と保証書はかならず保管してください。



ファイルなど

接続の前に

—— 輸送ネジを抜いてください。

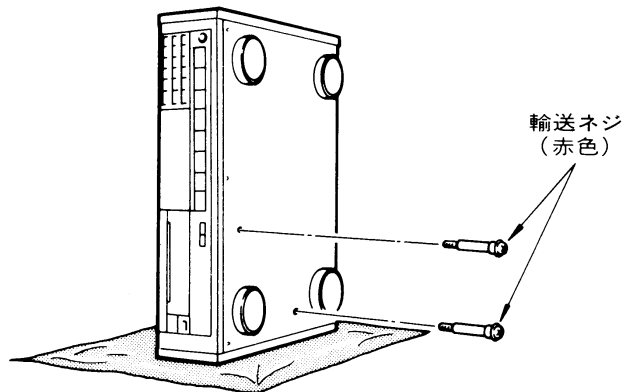
CDプレーヤー内部にあるレーザーピックアップ部を、輸送時の振動から守るために本体の底面から輸送ネジで固定しています。ご使用前に下記の要領で取りはずしてください。

●取りはずし

本機の電源を入れる前に、必ず輸送ネジの取りはずし作業を行なってください。図のように左側を下にして、(+)ドライバーで輸送ネジを取りはずします。その際、本体に衝撃を加えないように充分注意してください。(輸送ネジは、大切に保管しておいてください。)

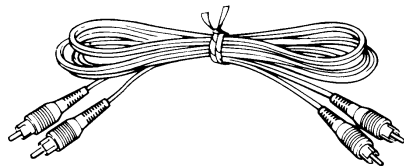
●引越しなどで輸送するとき

輸送ネジを取り付けます。取り付けの際は、ディスクが取り出してあることを確認し、取りはずしの逆の手順で取り付け作業を行なってください。

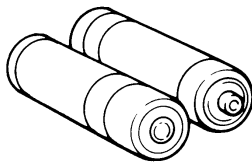


付属品を確認してください。

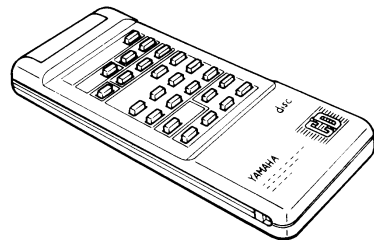
付属品は3点あります。



ピンコード



乾電池 単3 (SUM-3)

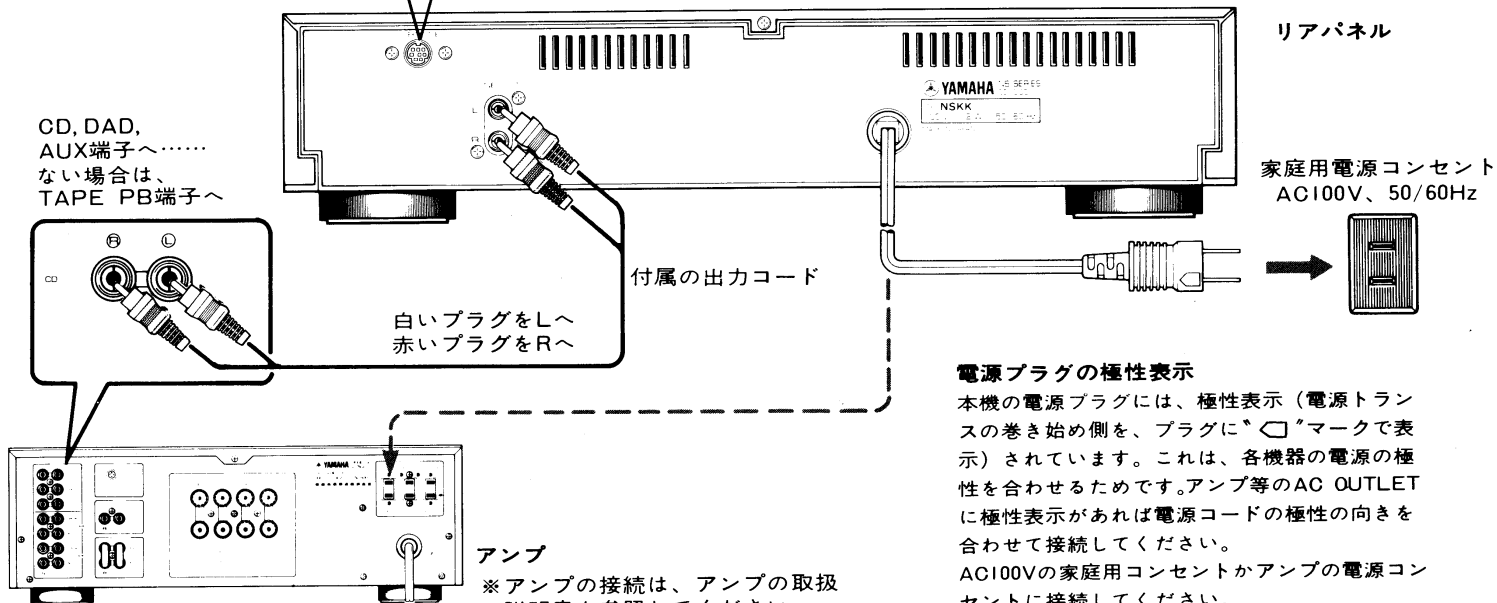


リモコン送信器 (RS-D10)

接続のしかた

- ▶接続する前に、輸送ネジが取りはずしてあることを確認してください。
- ▶接続の際は、各機器の電源を切り、右チャンネル(R)、左チャンネル(L)を確認して接続してください。
本機の出力は、アンプのPHONO端子に接続しないでください。
- ▶本機がチューナーに妨害信号を与えるようなときは、チューナーと本機の距離を少し離して設置してください。

サブコード出力端子 将来、映像情報などをもつコンパクトディスクからの信号を出力するための予備端子です



※アンプの接続は、アンプの取扱
説明書を参照してください。

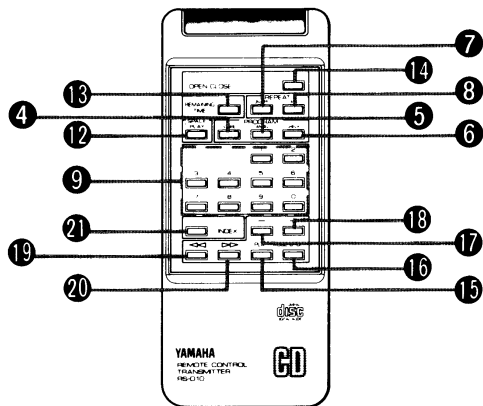
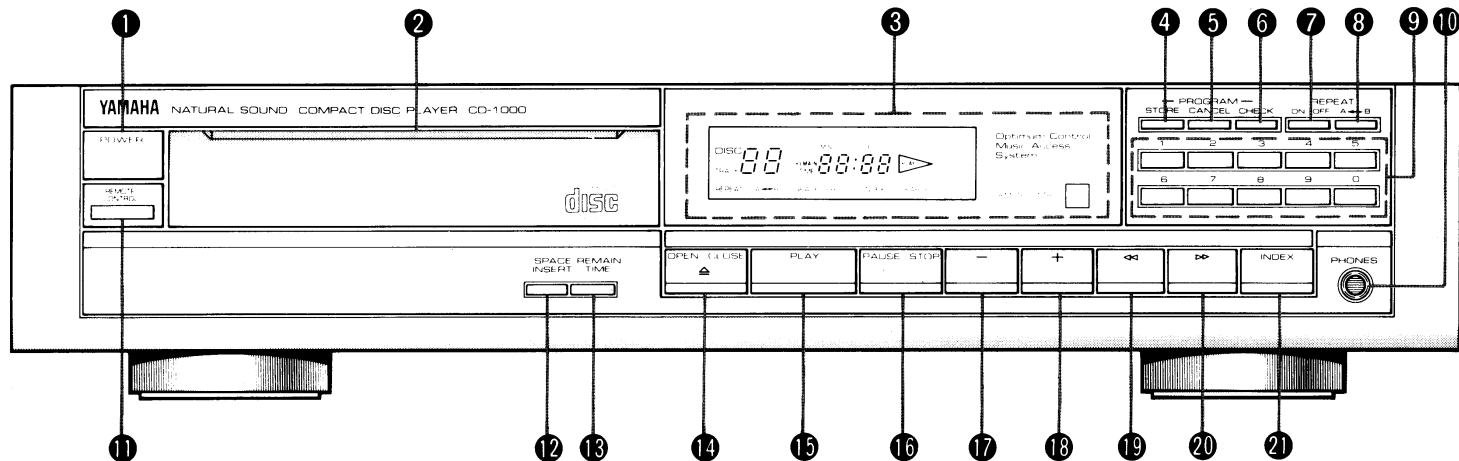
電源プラグの極性表示

本機の電源プラグには、極性表示（電源トランスの巻き始め側を、プラグに“□”マークで表示）されています。これは、各機器の電源の極性を合わせるためです。アンプ等のAC OUTLETに極性表示があれば電源コードの極性の向きを合わせて接続してください。

AC100Vの家庭用コンセントかアンプの電源コンセントに接続してください。

本機の消費電力は12Wです。アンプの電源コンセントの供給電力を確認の上、ご使用ください。

各部の名称とはたらき



① POWERスイッチ

本機の電源をON、OFFするスイッチです。あらかじめコンパクトディスクを②ディスクトレイにセットしておくと、電源を入れると同時に演奏を始めることができます。

② ディスクトレイ

コンパクトディスクを入れるところです。⑭OPEN/CLOSEキーを押すと開き、もう一度押すと閉まります。ディスクトレイを軽く手で押すことによっても閉められますし、⑮PLAYキーを押しても閉まります。但し、ディスクトレイの開閉は電源が入っているときのみ可能となります。

ディスプレイ

DISCインジケータ

ディスクトレイを開閉すると、このインジケータが点滅します。(OPEN状態になると消灯)ディスクを入れディスクトレイを閉じると、点滅が止まって点灯状態になり、演奏中もそのまま点灯し続けます。ディスクが入っていない場合は点灯しませんので、ディスクトレイを閉じたままでも、ディスクが入っているかどうか確かめられます。

※ディスクトレイに、ディスクが正しく入っていないときは、このインジケータが点滅(約5秒間)して消えます。ディスクの表と裏が逆になっていないかを確認して、もう一度ディスクを入れ直してください。

TRACK NO.表示

コンパクトディスクをセットした後、約3秒間総曲数を表示します。演奏時、プログラム時には曲の番号を表示します。

REMAINインジケータ

REMAIN TIMEキーを押し、残量時間を表示しているときに点灯します。

時間表示

コンパクトディスクをセットした後、約3秒間総演奏時間を表示します。演奏時に曲ごとの経過時間、REMAIN TIMEキーを押せば、最終曲までの残量時間を表示します。またインデックスNO.やプログラムNO.の表示もします。

PLAYインジケータ

演奏時に点灯し、ポーズ時に点滅します。ストップ時には消灯します。

REMOTE CONTROLインジケータ

付属のリモコンユニットからの信号を受光すると点灯します。

SPACEインジケータ

SPACEキーを押し、スペースインサート機能がはたらいているときに点灯します。

SEARCHインジケータ

光ヘッドが曲をサーチしている間、点灯します。

INDEXインジケータ

INDEXキーを押し、インデックスNO.指定可能な状態のときに、点灯します。

TRACKインジケータ

電源を入ると点灯します。

TIMEインジケータ

電源を入ると点灯します。

REPEATインジケータ

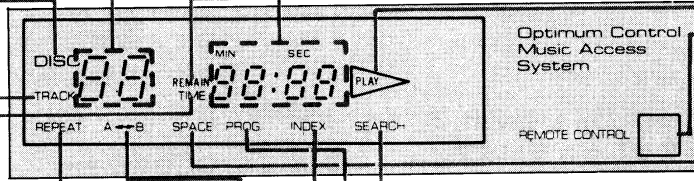
REPEAT"ON/OFF"キーまたはA↔B間リピート指定キーを押し、リピート機能がはたらいているときに点灯します。

A↔Bインジケータ

A↔Bリピート指定キーを押すとA点がメモリーされ点滅し、もう一度押すとB点がメモリーされ点灯します。REPEAT"ON/OFF"キーを押して、A↔Bリピートを解除すると消灯します。

PROG.インジケータ

プログラムが記憶されると点灯し、その内容を消すと消灯します。



④ ^{ストア}STOREキー

プログラムのSTORE(登録)を行なうためのキーです。

※最大12曲までプログラム可能です。

※ディスクトレイが開いた状態でもプログラム可能です。

⑤ ^{キャンセル}CANCELキー

プログラムを一曲ずつCANCEL(削除)するためのキーです。

※メモリーを全て消すときは、ディスクトレイを開けるか一度電源を切ってください。

⑥ ^{チェック}CHECKキー

プログラム内容のCHECK(確認)を行なうためのキーです。

⑦ ^{リピート オン オフ}REPEAT“ON/OFF”切換キー

リピート機能のON/OFFを切り換えるキーです。

ONにするとコンパクトディスクに収録されている全曲、またはプログラムされている全曲の繰り返しを行ないます。

A↔B間リピートを解除するときも使用します。

⑧ A↔B間リピート指定キー

特定の区間(フレーズ)を繰り返し演奏するときに、その始めと終りの位置を指定するためのキーです。

⑨ ^{テン}10キー(1～0数字キー)

1から0までの数字キーです。曲番およびインデックスNO.を指定するときに使います。

⑩ ^{ホーンズ}PHONESジャック

ヘッドホンを接続するジャックです。

⑪ ^{リモート コントロール}REMOTE CONTROL受光窓

リモコンユニットからの信号(赤外線)を受光する窓です。

正しく受光すると、③ディスプレイ内のREMOTE CONTROLインジケーターが点灯します。

⑫ ^{スペース インサート}SPACE INSERTキー

曲間やA↔B間リピートのB点からA点へ戻る間に約3秒の空白を作るためのキーです。(⇒24ページ)

⑬ ^{リメイン タイム}REMAIN TIME表示キー

このキーを押すと、③ディスプレイのREMAINインジケーターが点灯し、演奏中のディスクの残量時間を表示します。もう一度押すとREMAINインジケーターが消灯し、演奏経過時間の表示に戻ります。

⑭ ^{オープン クローズ}OPEN/CLOSEキー

②ディスクトレイの開閉を行なうためのキーです。押すと開き、もう一度押すと閉まります。

⑮ ^{プレイ}PLAYキー

演奏をスタートさせるキーです。

⑯ ^{ポーズ ストップ}PAUSE/STOPキー

演奏している所でポーズ(一時停止)したり、演奏をストップさせるためのキーです。

⑰ ^{マイナス} “-” キー

演奏またはポーズしている曲の頭に戻すためのキーです。
曲の頭でポーズしている場合は、前の曲の頭に戻ります。

演奏時	その曲の頭から演奏
ポーズ時	その曲の頭でポーズ
選曲操作中	前の曲の頭でストップ

※押し続けると連続的に変化します。

⑱ ^{プラス} “+” キー

1曲ずつ次の曲へ進めるためのキーです。

演奏時	次の曲の頭から演奏
ポーズ時	次の曲の頭でポーズ
選曲操作中	次の曲の頭でストップ

※押し続けると連続的に変化します。

⑲ ^{早戻し} “◀◀” キー

演奏を早戻しするためのキーです。

演奏時	早戻し(音出しサーチ)
ポーズ時	早戻し(音ナシ)
選曲操作中	変化しません

※演奏時は3秒以上押し続けると、中速で早戻しを行いません。

※ポーズ時は3秒以上押し続けると高速で早戻しを行いません。

⑳ ^{早送り} “▶▶” キー

演奏を早送りするためのキーです。

演奏時	早送り(音出しサーチ)
ポーズ時	早送り(音ナシ)
選曲操作中	変化しません

※演奏時は3秒以上押し続けると、中速で早送りします。

※ポーズ時は3秒以上押し続けると高速で早送りします。

㉑ ^{インデックス} INDEX キー

コンパクトディスクに設定されたインデックス番号を指定するときに⑨10キーと組み合わせて使います。

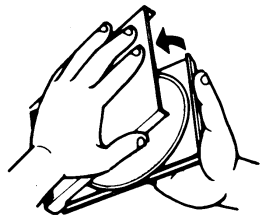
なお、インデックスサーチは演奏、ポーズ、ストップのいずれの状態からでも行なうことができます。

コンパクトディスクの取り扱い

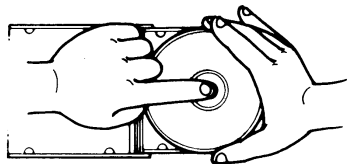
本機はコンパクトディスク専用のプレーヤーです。compact disc^{COMPACT}_{DIGITAL AUDIO}マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

ケースからの取り出しかた

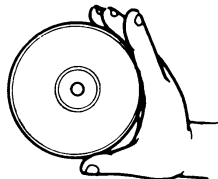
1. 右手でケースの横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開きます。



2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でコンパクトディスクを持ち上げます。

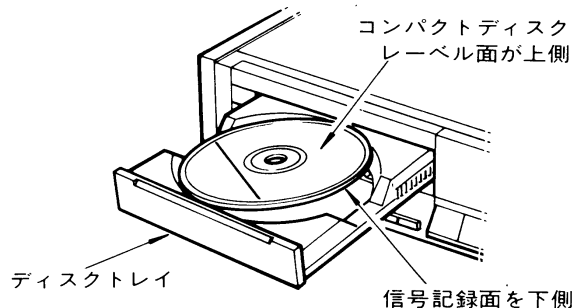


3. できるだけコンパクトディスクの縁を持ち、表面に触れないように注意してください。



コンパクトディスクのセット

- コンパクトディスクのセットは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトディスクの演奏は片面だけです。)
- 市販のCD用スタビライザーなどの使用は、ディスクを傷つけるだけでなく故障の原因になることがありますのでご使用にならないでください。



取り扱いの注意

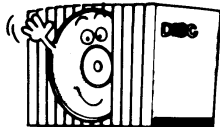
- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ放射状に拭いてください。コンパクトディスクには、レコード盤のような音溝はありません。ほこりや汚れがついたら柔らかい布で軽く拭き取るだけで充分です。多少のほこりや汚れは、音質には全く影響ありません。



- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。



- 演奏を終わったコンパクトディスクは必ずケースに入れて保管してください。



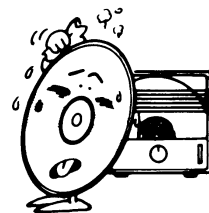
- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。



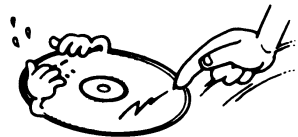
- 曲げたりしないでください。



- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所へ長時間置かないでください。コンパクトディスクを高温な場所に長時間放置すると変形などの原因となります。

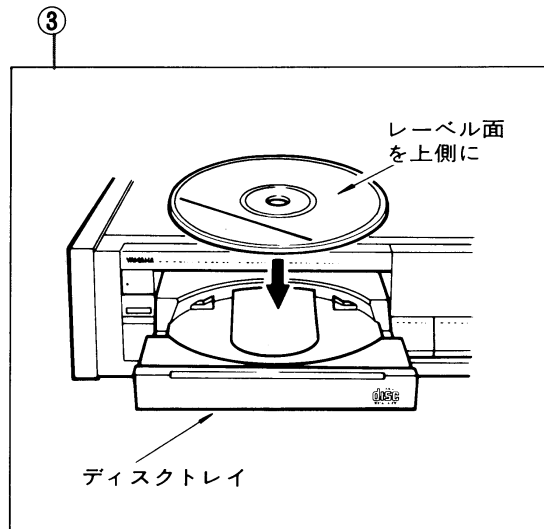
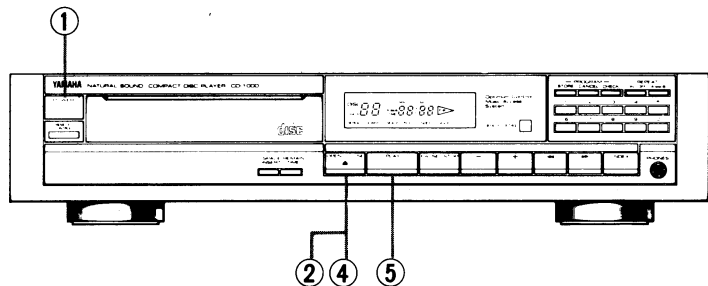


- 表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。



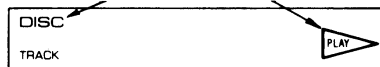
演奏のしかた

●電源を入れる前に、必ず輸送ネジが取りはずされていることを確認してください。



①POWERスイッチを押して電源を入れます。

約5秒間点滅・点灯します。



※POWERスイッチのON、OFFを極端に早く繰り返しますと、内部動作が正しく行なわれないことがあります。

②OPEN/CLOSEキーを押します。

ディスクトレイが開きます。

※ディスクトレイが出た状態では、OPEN/CLOSEキーのほかにPLAYキー、“+”キー、“-”キー、INDEXキーによる操作、およびプログラム操作が可能となります。

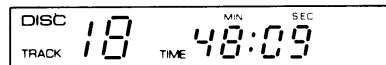
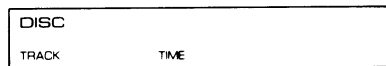
③コンパクトディスクをケースから取り出し、レーベル面を上にしてディスクトレイに入れます。(P.9 ページ)

※レーベル面の反対側が音の記録面です。(コンパクトディスクの記録面は片面だけです。)

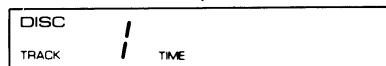
④OPEN/CLOSEキーを押します。

ディスクトレイが閉まり、数秒間DISCインジケーターが点滅しコンパクトディスクの総曲数と総演奏時間を約3秒間表示した後、ストップ状態になります。

表示例、総曲数18曲、総演奏時間48分9秒



約3秒後



※ディスクトレイの閉めかたは、3通りあります。

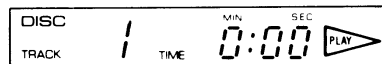
- OPEN/CLOSEキーを押す。
- ディスクトレイを軽く押す。
- PLAYキーを押す。

ご注意

- ディスクトレイ部には、不要物などを入れないください。故障の原因となります。
- ディスクトレイが動作している途中は、手で無理に開閉しないでください。

⑤PLAYキーを押します。

演奏が始まり、ディスプレイに曲番と演奏時間が表示されます。

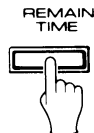


※コンパクトディスクにキズ等があると、演奏開始時間が遅れたり、途中から演奏することがあります。

※偏芯したコンパクトディスクは、本機の内部で異音を発生することがありますので、ご使用にならないでください。

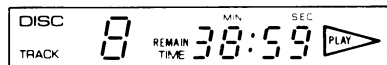
※1曲目から最後の曲まで通して演奏します。その間ディスプレイは、曲番と時間を表示し、最終曲まで演奏すると自動的にストップ状態になります。

■残量時間を表示させるときは



REMAIN TIMEキーを押します。

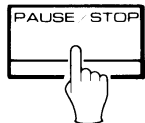
表示例. 8曲目を演奏中、残量時間38分59秒



REMAINインジケーターが点灯し、残量時間が分秒単位で表示されます。もう一度REMAIN TIMEキーを押すと経過時間表示に戻ります。

※ポーズ時、プログラム時でも同様に残量時間の表示ができます。

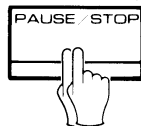
■演奏をポーズするには…



PAUSE/STOPキーを1回押します。

キーを押した所でポーズし、PLAY表示が点滅します。演奏を再開するにはPLAYキーを押してください。

■演奏をストップするには…



PAUSE/STOPキーを2回押します。

PLAY表示が消え、演奏がストップし、1曲目の頭で待機します。

■コンパクトディスクを取り出すときは…



OPEN/CLOSEキーを押します。

ディスクトレイが出てきます。コンパクトディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めてください。

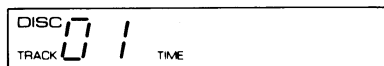
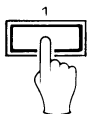
本機をご使用にならないときは、ゴミやホコリを防ぐためディスクトレイを閉めておいてください。

選曲のしかた

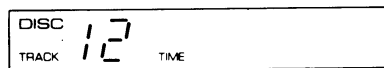
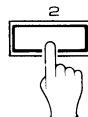
■お好みの曲から演奏を始めるとき

例. 12曲目から演奏を始めるとき。

①10キーの1を押します。“01”と表示されます。



②10キーの2を押します。“12”と表示されます。

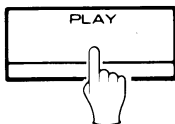


※曲番を間違えたときは、もう一度10キーを押し直してください。

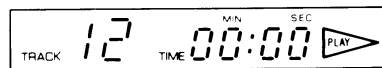
※最終曲番より大きい数字を押したときは自動的に最終曲番の表示に変わります。

※“+”キー・“-”キーを使用して曲番を指定することもできます。

③PLAYキーを押します。



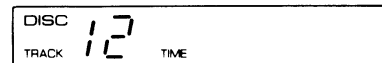
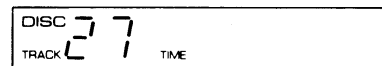
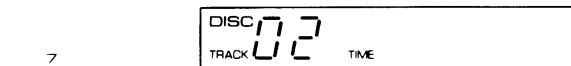
PLAYインジケーターが点灯し、12曲目から演奏が始まります。



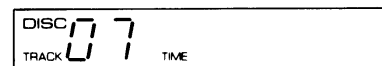
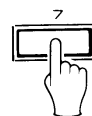
■曲番を変更するときは

10キーを押してTRACK NO.を変更することができます。

例. 2を7に訂正するときは、“07”と表示されるまで、“7”を(2回)押します。



※最終曲番の表示に変わります。この場合12です。

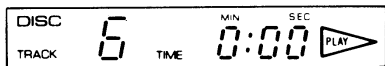
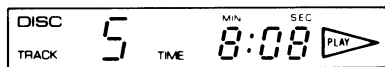
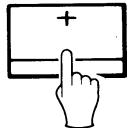


曲の頭出し

■演奏中に次の曲に進むとき

例. 5曲目を演奏中に、6曲目の頭に進み演奏を始めるとき

- “+”キーを1回押します。

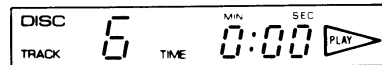
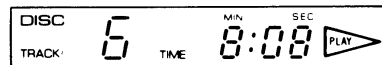
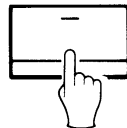


このように表示が変わり、6曲目から演奏が始まります。

■いま演奏している曲の頭出し

例. 6曲目を演奏中に、6曲目の頭に戻り演奏を始めるとき

- “-”キーを1回押します。

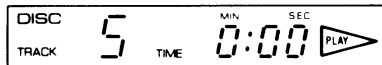
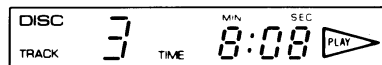
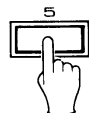


このように表示が変わり、6曲目から演奏が始まります。

■演奏中にお好みの曲を頭出しするとき

例. 3曲目を演奏中に、5曲目の頭に移り演奏を始めるとき

- 10キーの“5”を押します。

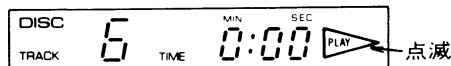
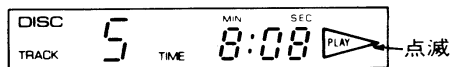
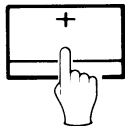


このように表示が変わり、5曲目の頭から演奏を始めます。

■ポーズ状態で次の曲に進むとき

例. 5曲目の途中でポーズしているときに、6曲目の頭に進みポーズさせるとき

- “+”キーを1回押します。

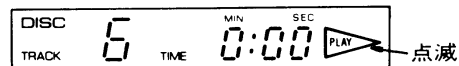
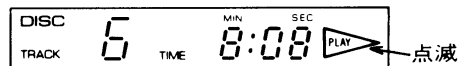
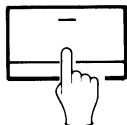


このように表示が変わり、6曲目の頭でポーズします。
PLAYインジケーターは点減しています。

■いまポーズしている曲の頭に戻るとき

例. 6曲目の途中でポーズしているときに、6曲目の頭を出すとき

- “-”キーを1回押します。

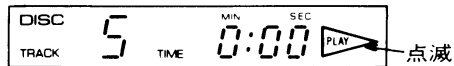
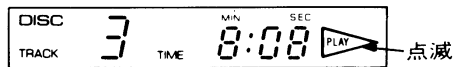
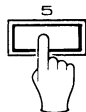


このように表示が変わり、6曲目の頭でポーズします。

■ポーズ中にお好みの曲の頭出しをするとき

例. 3曲目でポーズしているときに、5曲目の頭に移りポーズするとき

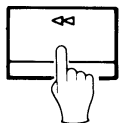
- 10キーの“5”キーを押します。



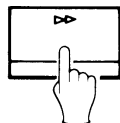
このように表示が変わり、5曲目の頭でポーズします。

早戻し・早送り

演奏中またはポーズ中に、“◀◀”キーを使って早戻し、“▶▶”キーを使って早送りができます。



早戻し



早送り

●演奏中のとき(音出し中速サーチ)

“◀◀”キーまたは“▶▶”キーを押し続けると、最初の3秒間は低速で早戻し・早送りして、それ以上押し続けると、中速で早戻し・早送りします。早戻し・早送り中は再生音が小さな音(1/4)で聴こえます。聴きたい位置で指を離すと、そこから演奏が再開されます。

●ポーズ中のとき(音ナシ高速サーチ)

“◀◀”キーまたは“▶▶”キーを押し続けると、最初の3秒間は低速で早戻し・早送りして、それ以上押し続けると、高速で早戻し・早送りします。指を離すと、その位置でポーズ状態になります。

●ストップ状態のとき

“◀◀”キーまたは“▶▶”キーを押しても、変化しません。

インデックスサーチ

■インデックス番号とは？

クラシック音楽等で一曲がいくつもの楽章によって構成されている場合、各楽章に番号が付けられており、インデックス番号と呼ばれています。演奏する前にコンパクトディスクの解説書によってお確かめください。

■インデックスの頭出し

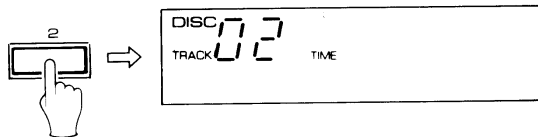
聴きたい曲を選曲した後にINDEXキーと10キー、または“+”キー・“-”キーを使用して、お好みのインデックスの頭出しを行ないます。

例. 2曲目のインデックス3を演奏するとき

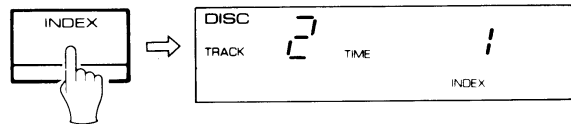
1 曲目		2 曲目		
インデックス1	インデックス2	インデックス1	インデックス2	インデックス3

ここから演奏をはじめます。

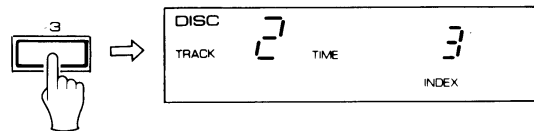
①10キーの“2”を押し、2曲目を選曲します。



②INDEXキーを押します。

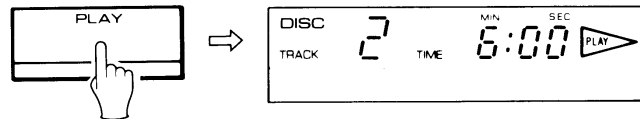


③10キーの“3”または“+”キーを2回押し、インデックスNO.を指定します。



④PLAYキーを押します。

2曲目のインデックス番号3から演奏が始まり、PLAYインジケーターが点灯し、時間表示は経過時間を表示します。



※インデックス番号が記録されていないコンパクトディスクの場合、インデックスを指定しても曲の最初から演奏します。

※コンパクトディスクに記録されているインデックス番号より大きな数を指定した場合、最終のインデックス番号のところを演奏します。

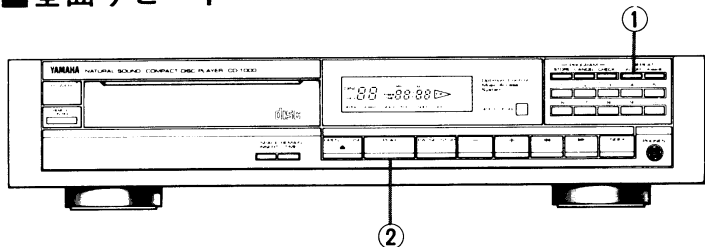
※インデックス演奏のときは、曲の少し前から再生することがあります。

※インデックスの頭出しは、1回演奏すると自動的に解除されます。

※インデックスの頭出しには、多少時間がかかることがあります。

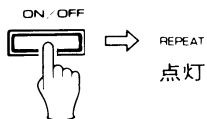
リピート演奏のしかた

■全曲リピート

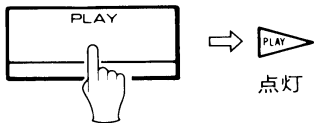


① REPEAT“ON/OFF”切換キーを押します。

REPEATインジケーターが点灯します。

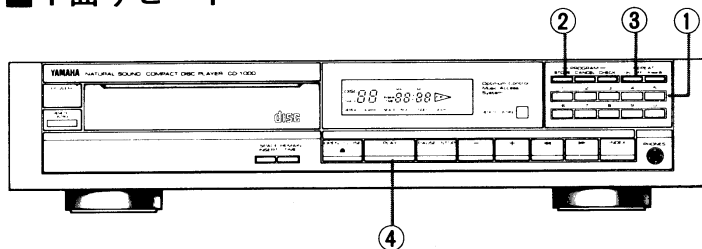


② PLAYキーを押します。PLAYインジケーターが点灯し、全曲リピート演奏が始まります。



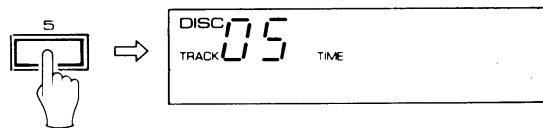
※演奏中、ポーズ中にREPEAT“ON/OFF”切換キーを押した場合にも、全曲リピートとなります。

■1曲リピート

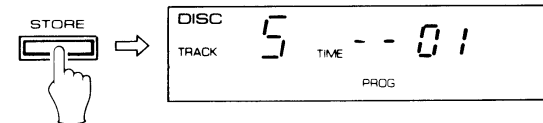


例. 5曲目をリピート演奏するとき

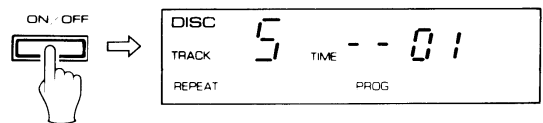
① 10キーの“5”を押します。TRACK NO.表示に“5”が表示されます。



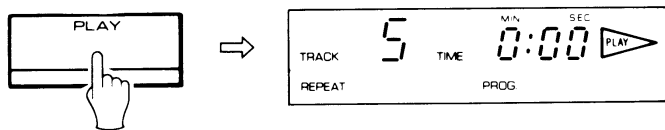
② STOREキーを押します。PROGインジケーターが点灯します。



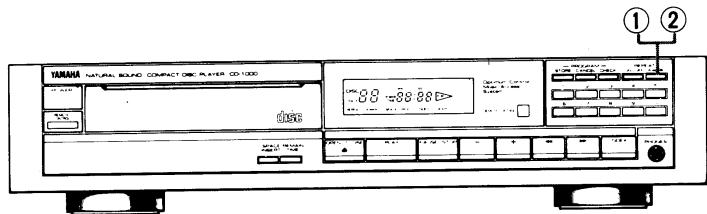
③ REPEAT“ON/OFF”切換キーを押します。REPEATインジケーターが点灯します。



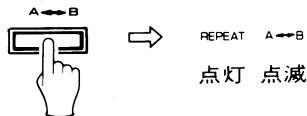
- ④PLAYキーを押します。PLAYインジケータが点灯し、1曲リピート演奏が始まります。



■特定の区間(フレーズ)のリピート(A↔Bリピート)

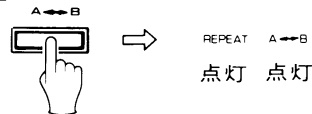


- ①演奏中に繰り返したいフレーズが来たらA↔Bリピート指定キーを押します。
 押した点がA点としてメモリーされ、A↔Bインジケータは点滅し、REPEATキーは点灯します。

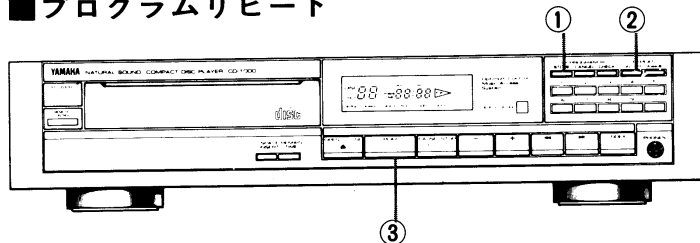


- ②繰り返したいフレーズの最後が来たらA↔Bリピート指定キーを押します。

押した点がB点としてメモリーされ、A↔Bインジケータが点灯し、A点をサーチした後、A↔Bリピート演奏が行なわれます。



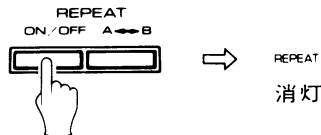
■プログラムリピート



- ①21ページの「プログラム演奏」を参照して、聴きたい曲を好きな順番にプログラムします。
 ②REPEAT“ON/OFF”切換キーを押します。
 ③PLAYキーを押します。

■リピート解除

リピート演奏を解除するときは、REPEAT“ON/OFF”切換キーまたは、OPEN/CLOSEキーを押してください。REPEATインジケータが消灯し、リピート演奏が解除されます。

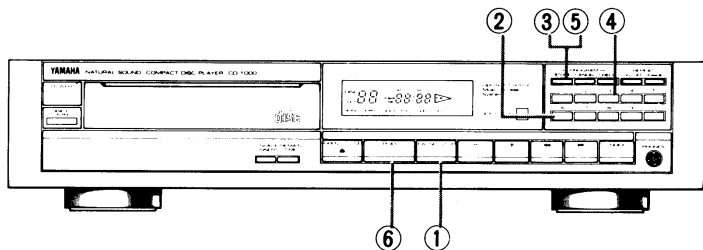


プログラム演奏

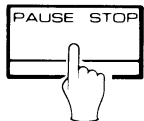
- コンパクトディスクに収録されている曲の中から、お好みの曲を選び、順番を並び替えて（ランダム）自動演奏することができます。
- 最大12曲までプログラム可能です。

■プログラム演奏のしかた

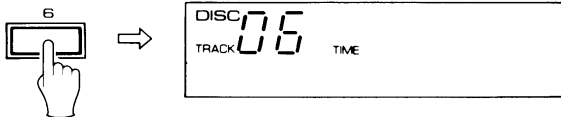
例、6曲目、3曲目の順番でプログラムするとき



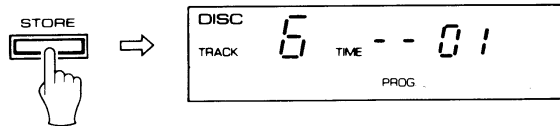
- ①演奏中のときはPAUSE/STOPキーを2回、ポーズ中のときはPAUSE/STOPキーを1回押してストップ状態にします。



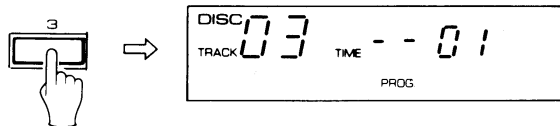
- ②10キーの6を押します。



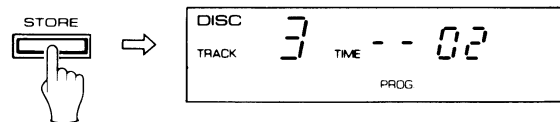
- ③STOREキーを押します。6曲目がプログラムNo.1にメモリーされPROGインジケーターが点灯します。



- ④10キーの3を押します。



- ⑤STOREキーを押します。

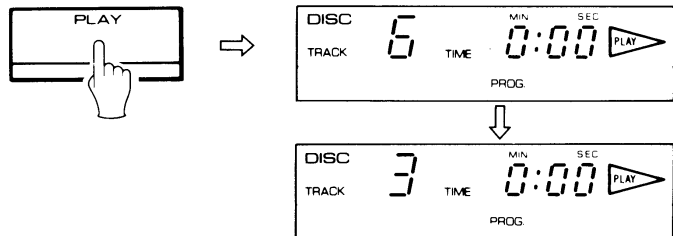


これで6曲目と3曲目のプログラムは完了です。

※このとき、REMAIN TIMEキーを押すとプログラムの総演奏時間が表示されます。

※同様にしてプログラムは"--12"までセットすることができます。

⑥PLAYキーを押してプログラム演奏を始めます。PLAYインジケーターが点灯し、6曲目、3曲目の順番で演奏されます。



プログラム演奏が終わると自動的にストップ状態（プログラム番号1で待機している状態）になります。

※インデックスのプログラム演奏はできません。

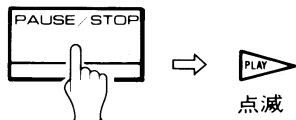
※プログラム総演奏時間が99分59秒を越えたときの

REMAIN TIME表示は、100分を除いた残り時間を表示します。

※プログラム演奏でTRACK NO. が20以上の曲番をプログラムしたときは、REMAIN TIME表示はされません。

■プログラム演奏を止めるとき…

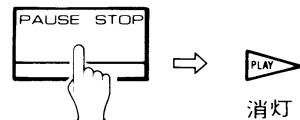
●ポーズするには



PAUSE/STOPキーを1回押します。

PLAYインジケーターが点滅状態になります。演奏を再開するときは、PLAYキーを押してください。

●ストップするには



PAUSE/STOPキーを2回押します。PLAYインジケーターが消灯し、ストップします。

■プログラム演奏中の選曲操作

プログラム演奏中に“+”キー・“-”キーを押すと、プログラムされている順番で前後の頭出しができます。さらに10キーを使えば、プログラムされていない曲の選曲も可能となります。

■プログラム演奏中の早送り、早戻し操作

“◀◀”キーまたは“▶▶”キーを押すと、プログラムに関係なく早送り、早戻しができます。

■プログラム内容のチェック



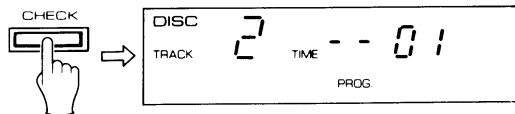
ストップ状態でCHECKキーを1回押すと、“--01”（プログラム1曲目）の内容が呼び出されます。CHECKキーを押すたびに、次々とプログラム内容が呼び出されます。

■プログラムの追加

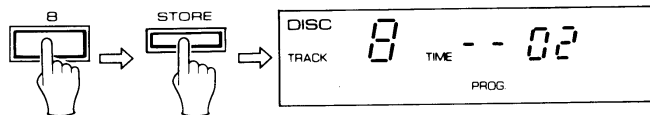
次のような方法でプログラムを追加することができます。
例、プログラムNO.01のあとに、ディスクの8曲目を追加する場合。

プログラムNO.	01	02	03
ディスクの曲番	2	4	6

- ①ストップ状態でCHECKキーを押し、プログラムNO.01を呼び出す。



- ②10キーの“8”を押し、次にSTOREキーを押します。



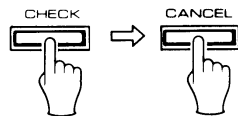
これでプログラムNO.02に8曲目が追加されました。

CHECKキーを押して追加されたプログラムの内容を確認してください。

プログラムNO.	01	02	03	04
ディスクの曲番	2	8	4	6

※合計12曲を越えるときは、13番目以後はキャンセルされます。

■プログラム内容のキャンセル(取り消し)



ストップ状態でCHECKキーを押し、削除したい曲番を呼び出し、CANCELキーを押すと、その曲が削除され、それ以降のプログラムNo.が1つずつ繰り上がります。なお、REMAIN TIMEインジケーターが点灯した状態では、削除された曲を除いた残りの総演奏時間が表示されます。

■プログラムの解除



OPEN/CLOSEキーを押し、ディスクトレイを開閉、または電源を切りますと、すべてのプログラムが解除されます。

タイマー演奏

別売のオーディオタイマーと組み合わせると、希望の時間に演奏を始めることができます。

- ①本機の電源プラグをアンプのコンセントに接続します。
- ②アンプの電源プラグをタイマーの連動コンセントに接続します。
- ③本機の電源スイッチを入れてコンパクトディスクを正しくセットします。
- ④アンプの電源スイッチを入れてINPUT SELECTORをCDにし、アンプの音量を調節します。
- ⑤タイマーで演奏開始時間と終了時間をセットします。
(このとき、各機器の電源が切れたことを確かめてください。)
※タイマーで時間をセットする方法は、タイマーの取扱説明書をご覧ください。

以上でタイマーにセットした時刻がくると自動的にディスクの第一曲目から演奏が始まります。

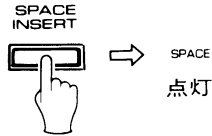
※プログラム演奏、リピート演奏はできません。

■曲間にスペースを入りたいとき

曲間が充分にないコンパクトディスクの場合、そのままテープに録音してもデッキで思いどおりに選曲できないことがあります。

このような場合、曲間に適当なスペースを挿入すると思いどおりの選曲が可能になります。

- ①SPACE INSERTキーを押します。SPACEインジケータが点灯します。



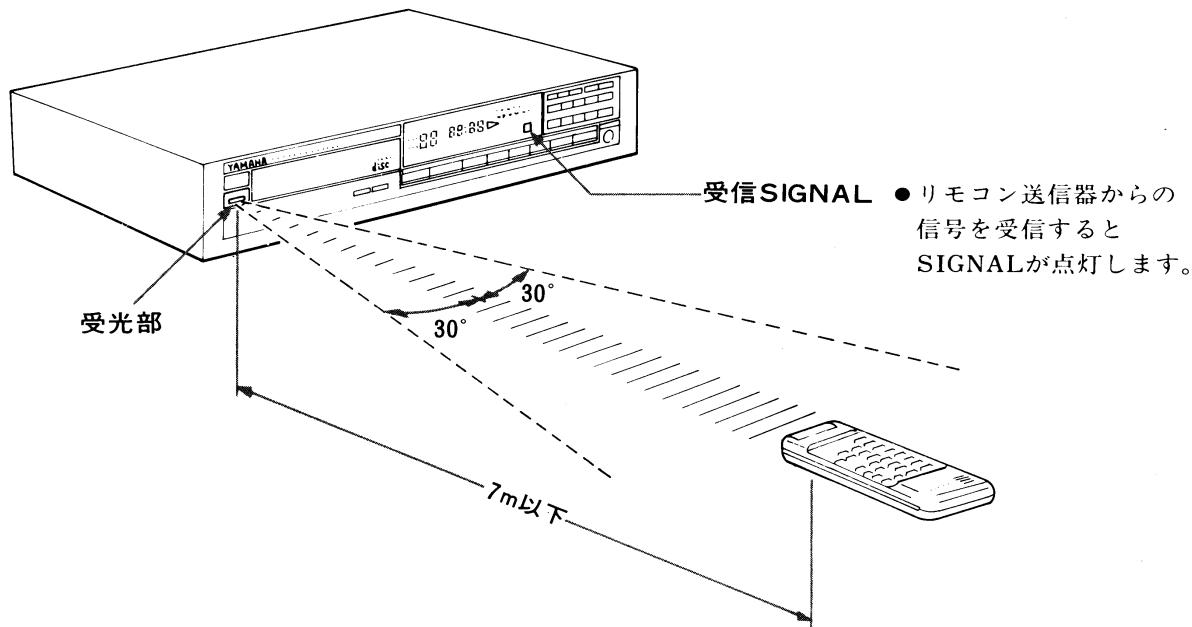
- ②PLAYキーを押します。PLAYインジケータが点灯し、演奏が始まり各曲の間に約3秒のスペースが挿入されます。
※プログラム演奏中やA↔Bリピート時も同様にスペースが挿入されます。

リモコン演奏

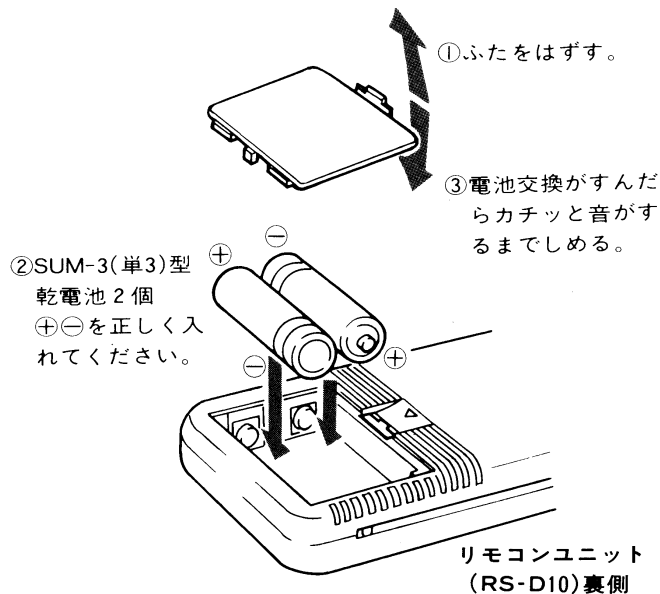
CD-1000はリモコン操作が可能です。

付属のリモコンRS-D10をご使用になりますと、基本操作のほとんどが離れた場所から操作できます。

なお、信号光は直進性の高い赤外線を使っていますので、受光部との角度にご注意ください。



●電池の交換は



電池の交換時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2個とも新しい電池に交換してください。電池がまったく消耗すると、ボタンを押しても受信シグナルがつかなくなります。

- プラス(⊕)とマイナス(⊖)の向きを、リモコンの電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 消耗してきた電池は、早めに交換してください。
- 新しい乾電池と一度使用したものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。
- 電池には充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。
- 電池の⊕と⊖を金属片などで直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいってください。
- 分解や加熱をしたり、火の中に入れたりしないでください。万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

※輸送ネジが取りはずしてあることをお確かめください。(※ 3 ページ)

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチを入れても電源が入らない	電源のプラグが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差込み直してください
ディスクトレイが途中で止まる	ディスクトレイの開閉方向に障害物がある	障害物を取り除きOPEN/CLOSEキーを押してください
コンパクトディスクを入れても演奏出来ない	コンパクトディスクが裏返しになっている	コンパクトディスクのラベル面を上にして入れてください
	コンパクトディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください (※ 10 ページ)
音が出ない	アンプとの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプの操作が間違っている	アンプのスイッチの位置を確認してください
音飛びする	プレーヤーに震動やショックを与えている	設置場所を変えてください
	コンパクトディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください (※ 10 ページ)
ハム音が出る	ピンプラグの接続不良	ピンプラグをしっかりと差込み直してください
チューナーにノイズがはいる	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください

参考仕様

■型式 コンパクトディスク・デジタル・オーディオ・システム

■オーディオ特性

周波数特性 2~20kHz ±0.5dB
高調波数歪率+雑音 0.002%以下 1kHz (EIAJ)
S/N比 102dB (EIAJ)
ダイナミックレンジ 97dB以上 (EIAJ)
フウ・フラッター 測定検知限以下
チャンネル・セパレーション 95dB以上 (1kHz)
出力電圧 2 Vrms (フルスケール)
出力インピーダンス 600Ω
ヘッドホン出力電圧(8Ωのとき) 150mV

■方式

光ピックアップ 3ビーム・レーザー
エラー訂正方式 CIRC. 2重エラー訂正方式
D/A変換 16ビットリニア
フィルター デジタルフィルター+5次アクティブフィルター

■機能

頭出し 10キーによる頭出し、“+”キー・“-”キーによる
順次頭出し
インデックスサーチ インデックスキーと、10キーまたは
“+”キー・“-”キー
音出しサーチ “◀◀”キー・“▶▶”キーによる
2スピード自動切換
残量時間表示 REMAIN TIME表示キーにて
プログラム機能 12曲ランダム
リピート 全曲またはプログラム全部のリピート
任意のA-B間リピート

■総合

電源 AC100V 50/60Hz
消費電力 12W
外形寸法(W×H×D) 435×100×290(mm)
重量 7.3kg
付属品 リモコンユニット(RS-D10)
乾電池……単3 (SUM-3)×2
ピンコード×1

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。



これは電子機械工業会「音のエチケット」
キャンペーンのシンボルマークです

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるもの
です。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな
夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁
などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけて
しまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音
楽はみんなて楽しむもの、お互いに心を配り快適な
生活環境を守りましょう。

ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、機を木長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

買上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

障の場合、お買上げ店、または最寄りの

YAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお得です。与欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。

ステレオの状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、ステレオの状態できるだけ詳しくお知らせください。またセッの品名、製造番号などもあわせてお知らせください。※品名、製造番号は本機背面パネルに表示されています。

■YAMAHA電音サービスセンター

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道 〒065 札幌市東区本町1条9-3

TEL(011)781-3621

仙台 〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F

TEL(0222)36-0249

東京 〒211 川崎市中原区木月1184

TEL(044)434-3100

新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F

TEL(0252)43-4321

浜松 〒432 浜松市東伊場2-13-12

TEL(0534)56-9211

名古屋 〒454 名古屋市中区川区玉川町2-1-2

日本楽器流通センター3F TEL(052)652-2230

大阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内

TEL(06)877-5262

四国 〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内

TEL(0878)51-7777 (0878)22-3045

広島 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39

TEL(082)874-3787

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-14

TEL(092)472-2134

本社

ホーム・エレクトロニクス事業本部

サービス技術課 〒430 浜松市中沢町10-1

TEL(0534)65-1111

■ステレオ営業所

北海道 〒064 札幌市中央区南10条1-4 ヤマハセンター内

TEL(011)512-6115

仙台 〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉通りビル

TEL(0222)23-3101

東京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F

TEL(03)255-6767 (03)255-5691 (03)255-2201

(03)255-1825 (03)255-2605 (03)255-4701

横浜 〒211 川崎市中原区木月1184

TEL(044)434-4871

新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 ヤマハ新潟センター内

TEL(0252)41-2084

千葉 〒260 千葉市千葉港2-1 千葉中央コミュニティセンター内

TEL(0472)47-6622

水戸 〒310 水戸市三ノ丸1-4-73 三井ビル5F

TEL(0292)24-7774

高崎 〒370 高崎市連雀町75 ヤマハ高崎月販内

TEL(0273)27-3322

静岡 〒422 静岡市緑ヶ丘町1-15 緑ヶ丘ビル48

TEL(0542)85-4878

浜松 〒432 浜松市鍛冶町321-6

TEL(0534)56-4461

名古屋 〒464 名古屋千種区東山通5-65

ヤマハ東山センター3F TEL(052)782-7551

北陸 〒920 金沢市武蔵町2-12 むらたビル5F

TEL(0762)21-2166

関西 〒556 大阪市浪速区数津東 1-9-16 ヤマハなんば

センター内 TEL(06)647-6411

中国 〒730 広島市中区八丁堀10-14

TEL(082)221-4123

四国 〒760 高松市丸亀8-7 ヤマハビル7F

TEL(0878)22-8642

北九州 〒803 北九州市小倉区堅町2-3-13

ヤマハ小倉センター内 TEL(093)592-3122

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

TEL(092)472-2131

■ヤマハオーディオ日本楽器直営店

札幌店 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目

ヤマハセンター TEL(011)512-6126

仙台店 〒980 仙台市一番町2-6-5

TEL(0222)27-8517

銀座店 〒104 東京都中央区銀座7-9-14

TEL(03)572-3133

浜松店 〒430 浜松市鍛冶町321-6

TEL(0534)54-4327

名古屋店 〒460 名古屋市中区錦1-18-28

TEL(052)201-5153

心斎橋店 〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39

TEL(06)211-8869

神戸店 〒650 神戸市中央区元町2-7-3

TEL(078)391-7651

海外拠点

ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・

スウェーデン・シンガポール・フィリピン

日本楽器製造株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1 TEL.(0534)65-1111(代)

住所および電話番号は変更になる場合があります。

